

## Ⅱ 電子マネーの保有・利用状況

### 1 電子マネー利用<sup>※3</sup>世帯の割合は前年に比べ1.6ポイントの上昇

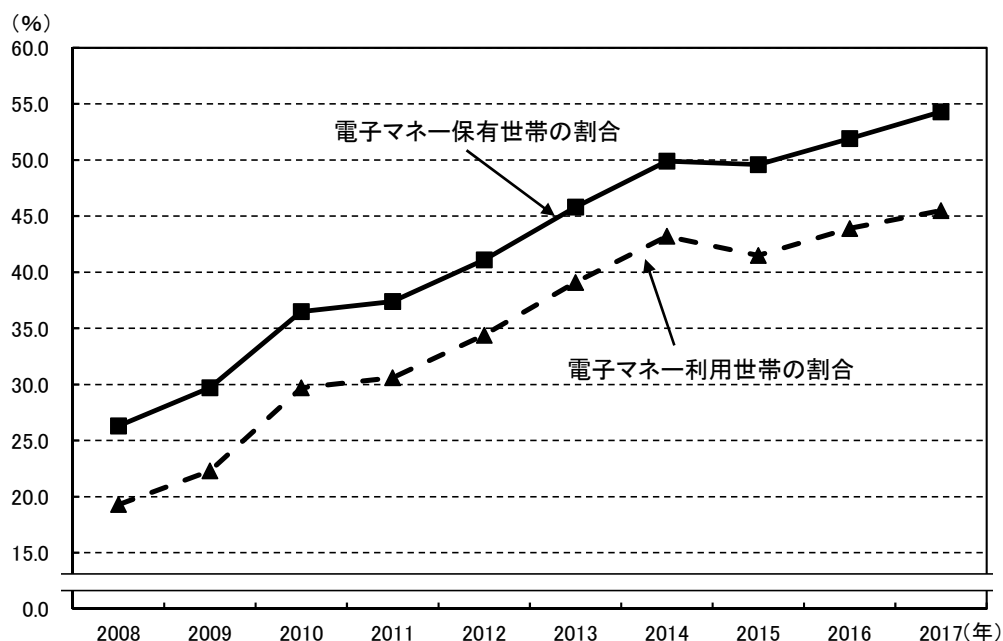
二人以上の世帯における2017年の電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は54.3%で、前年に比べ2.4ポイントの上昇となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合は45.5%で、前年に比べ1.6ポイントの上昇となった。（表Ⅱ－1，図Ⅱ－1）

表Ⅱ－1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー 保有世帯	電子マネー 利用世帯
割合(%)		
2008年	26.3	19.3
2009	29.7	22.3
2010	36.5	29.7
2011	37.4	30.6
2012	41.1	34.4
2013	45.8	39.1
2014	49.9	43.2
2015	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5

図Ⅱ－1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）



※3 この調査での「電子マネーの利用」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）の利用をいう。

例) Suica, ICOCA, PASMO, nanaco, WAON, 楽天Edy, WebMoney, BitCash, クオカードなど

なお、デビットカードの利用や、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスの利用は含まない。

また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等の利用も含まない。

## 2 電子マネー利用金額は増加

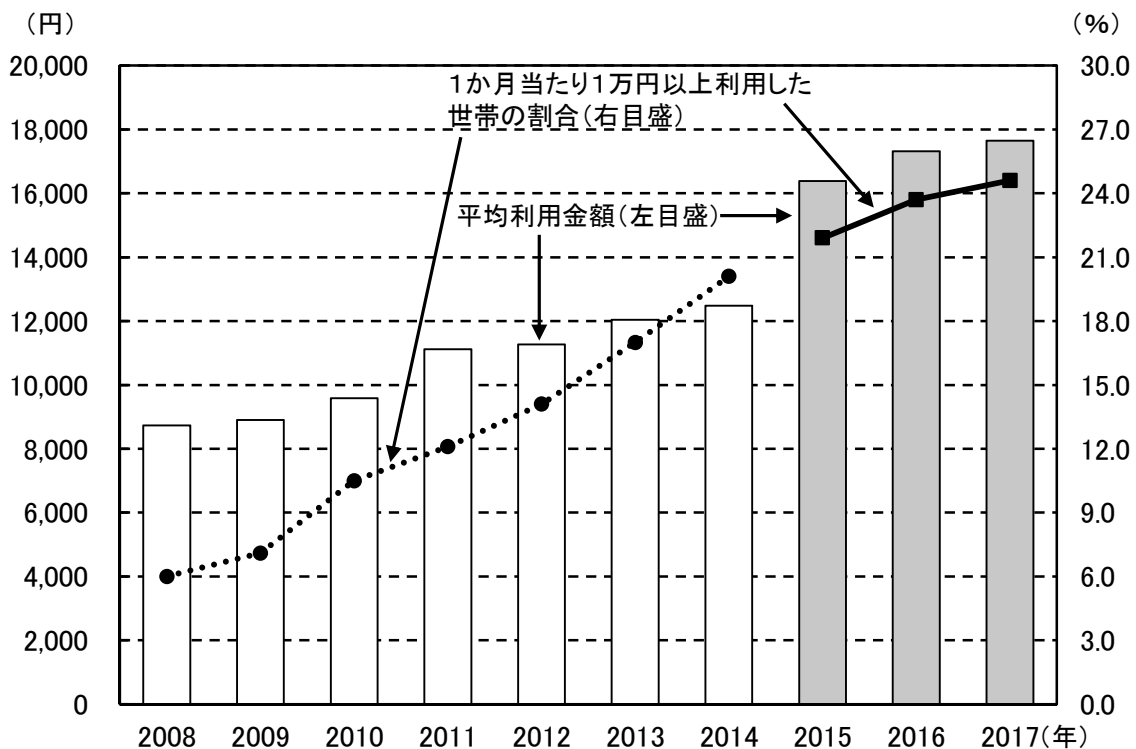
電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における 2017 年の電子マネーの利用金額は、1 か月平均 17,644 円で、前年に比べ 1.9% の増加となった※<sup>4</sup>。

また、電子マネーを 1 か月当たり 1 万円以上利用した世帯の割合は 24.6% で、前年に比べ 0.9 ポイントの上昇となった。（表Ⅱ－2，図Ⅱ－2）

表Ⅱ－2 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）

年次	平均利用金額(円)	1か月当たり1万円以上利用した世帯の割合(%)
2008年	8,727	6.0
2009	8,897	7.1
2010	9,588	10.5
2011	11,116	12.1
2012	11,269	14.1
2013	12,044	17.0
2014	12,480	20.1
2015	16,382	21.9
2016	17,318	23.7
2017	17,644	24.6
2017年の対前年 名目増減率(%)	1.9	-

図Ⅱ－2 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）



※<sup>4</sup> 2015年1月に調査票を変更した。このため、電子マネー利用世帯における1か月間の平均利用金額については2014年12月以前の結果と時系列で比較する際は注意が必要である。

### 3 電子マネー利用金額は、世帯主が50歳代の世帯が最も多い

電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における2017年の電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1か月平均19,002円で最も多く、次いで60～69歳（18,356円）、70歳以上（17,478円）などとなっている。

前年と比べてみると、40～49歳及び70歳以上の年齢階級で増加となった。（表Ⅱ－3，図Ⅱ－3）

表Ⅱ－3 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	17,318	15,490	16,073	19,835	18,501	14,111
2017年	17,644	14,247	16,969	19,002	18,356	17,478
名目増減率(%)						
2017年	1.9	-8.0	5.6	-4.2	-0.8	23.9

図Ⅱ－3 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

